

令和7年 夏号

もみじ便り



社会福祉法人 札幌シニア福祉機構
特別養護老人ホーム「サポーター・もみじ台」
札幌市厚別区もみじ台北6丁目2-5-2
電話:011-897-8000
発行者:施設長 泉水 康之
発行日:令和7年7月17日
ホームページアドレス:<http://www.s-senior.or.jp/>

盛夏の候、みなさまにはご健勝のこととお慶び申し上げます。今回の「もみじ便り」は前半で各フロアの様子を写真で、後半では施設での取り組みについていくつかご紹介させていただきます。

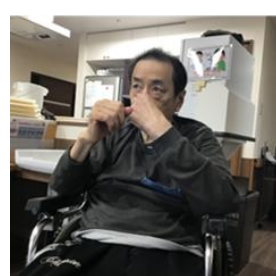
【生け花】 お一人お一人のセンスが光ります！



【七夕】 それぞれ短冊に願いを込めて… ご自身やご家族の健康を願う方が多いようです。



【体操】 各階日替わりで「朝のラジオ体操」を始めました。自由参加です。



【7月の行事予定】

7日(月) 2・4階往診

14日(月) 3階往診

17日(木) 参院選不在者投票

25日(金) 移動売店

28日(月) 5階往診

31日(木) 納涼レクリエーション(2階・3階)

8/5日(火) 納涼レクリエーション(4階・5階)

【眠りスキャンについて】

当施設では、ご入居者様の夜間の安全と快適な睡眠を支えるために、「眠りスキャン」という見守り機器を導入しております。

🏠 眠りスキャンってどんな機器？

皆様のベッドの下に設置させていただいています（写真参照）。寝ている間の体の動きや呼吸の変化が職員の待機する部屋の端末（パソコンやタブレット）に表示されるため、職員が居室を出入りすることなく入居者様の様子を確認できます。

📊 どんなことができるの？

- 睡眠時間や眠りの深さ・浅さのデータが残るため正確な睡眠状況が把握できます。
- 夜間に目が覚めたりトイレなどで起き上がりが確認でき、そのタイミングで訪室できます。



💡 睡眠データを活用してケア内容の見直しを図ります。

例えば「明け方に目が覚めやすい方」には1日の生活リズムを見直したり、夜間に何度もトイレで目が覚める方はトイレに起きる時間間隔をデータから調べて訪室するタイミングを見極めるなど、一人ひとりに合わせた対応方法の幅が広がります。このことで、定期的な巡回訪室で入居者様を起こしてしまう事も減り、安眠にもつながります。

👤 スタッフの労働環境の改善にも繋がります。

夜間にお部屋を巡回しなくてもご様子が把握できるため、職員の身体的・心理的な労力が減り、その分ゆとりをもって優先的に支援が必要な方へ集中する事ができます。また、職員の経験年数や熟練度に左右されず、入居者様の状態把握や支援の水準を統一することにもつながります。

🔒 プライバシーにも配慮しています。

眠りスキャンで取得する情報は睡眠や動きに関するもので、居室内の映像や音声の記録はありません。個人情報の取り扱いには十分配慮しています。

【食品の持ち込みについて】



入居されている皆様は、加齢や疾患等の理由で抵抗力が弱いため、少ない菌やウイルスでも症状が出たり、若い方なら軽い症状で済むものも重篤化する可能性があります。そのため当施設ではご家族からの食品のお持ち込みに以下のルールを定めてご協力をお願いしています。

- ① お寿司やお刺身、魚卵等の塩蔵品（筋子や松前漬け等）について：夏期は気温が高く食中毒のリスクが高まる季節ですので、基本的には持ち込みの自粛をお願いしております。
- ② 自家製の煮物や漬物について：当日に食べきれる量での差し入れにご協力お願いします。調理や保存に関しては別添『家庭でできる食中毒予防の6つのポイント』を参考にしてください。
- ③ 果物について：みかんやバナナなど皮付きのものは季節問わず持ち込みは可能ですが、鮮度や一度に食べられる量を勘案してお持ちいただけるようお願いいたします。カットした果物は市販のものは消費期限以内の物を、ご家庭でカットしたものも基本は当日食べきれる程度の量での持ち込みにご協力ください。果物も非加熱食品ですのでご家庭での調理の際は菌の付着などに対して十分ご注意願います。

※食品をお持ち込みの際には職員（介護職員・事務職員でも可）へ必ずお声がけをお願いします（面会時の飲食後に体調変化があった際に正確な情報を把握して対応する必要があるため、ご理解ご協力をお願いいたします）